

No.1 (R.G.562yds L.G.513yds) PAR5

当コース最長のロングホール。第1打は左サイド200ヤード地点からOB、右サイドは池のため安定したティーショットを。第2打ではグリーンまで180ヤード地点のクリークに注意。スタートホールにしては難ホール。

No.2 (R.G.332yds L.G.310yds) PAR4

比較的距離が短いミドルホール。飛ばす人は左グリーンではワンオンも可能。左サイドはOB、確実なショットでパーオンを。

No.3 (R.G.185yds L.G.186yds) PAR3

名物の砂利ハザードがあるのがこのホール。グリーンはアンジュレーションがあるため3パットに要注意。

No.4 (R.G.393yds L.G.382yds) PAR4

比較的距離が長いミドルホール。左サイドとグリーンの奥はOB。グリーンの奥からの寄せは難しいため、手前からの慎重なアプローチショットを。

No.5 (R.G.525yds L.G.516yds) PAR5

フェアウェイが広々としたロングホール。第3打目は右グリーン手前の柳の木を避け、左右グリーンの間の方向が狙い目。左サイドのOBに注意。

No.6 (R.G.185yds L.G.191yds) PAR3

グリーン手前のグラスバンカーに注意。大きめのクラブで果敢にワンオンを狙って下さい。

No.7 (R.G.377yds L.G.377yds) PAR4

使用グリーンによっては攻略が一変するミドルホール。フェアウェイ230ヤード地点の右側の松に注意したい。左グリーンは奥に傾斜、グリーン手前と左側のバンカーに注意。

No.8 (R.G.403yds L.G.358yds) PAR4

フェアウェイが広く素直に攻めたいミドルホール。グリーンは2段グリーンなので、ピンの位置を確認し、ピンのある段につけたいところです。

No.9 (R.G.351yds L.G.381yds) PAR4

池の景観が素晴らしいホール。池を気にせず思い切りのよいショットを。左サイドのOB杭に注意。

全体的に高低差の少ないフラットなコース。
豪快なショットや、デリケートな小技を駆使しよう!

OUT

雄大な日光・那須連山と、静かに流れる鬼怒川…
美しい自然の中で、時を忘れて
ゴルフを堪能しよう!

**No.16 (R.G.361yds L.G.329yds) PAR4**

ティーグラウンドから、右側の3段池とコース全体の景観が美しく見られるホール。確実なアプローチショットでパーオンを。

No.17 (R.G.217yds L.G.186yds) PAR3

グリーンが奥に傾斜し、手前がグラスバンカー。距離があるショートホールで難ホールの一つ。グリーン奥からのアプローチを一考。

No.18 (R.G.512yds L.G.515yds) PAR5

右ドッグレッグのロングホール。第1打でフェアウェイの右のバンカーを越えればツーオンも可能。グリーン付近にバンカーがない唯一のホール。

ドッグレッグやクリークが多く、変化に富んだコース。
戦略的要素が高いので、頭脳プレーで勝負!

No.10 (R.G.358yds L.G.318yds) PAR4

日光連山に向かってのティーショット。グリーン手前からフェアウェイ左サイドに沿ったクリークに注意。飛ばす人はフェアウェイウッドかロングアイアンでフェアウェイ右サイドから攻めたい。

No.11 (R.G.214yds L.G.229yds) PAR3

距離感がつかみにくいショートホール。グリーンが比較的大きく、手前に傾斜している。ピンの位置を確認の上大きめのクラブを。右サイドOB。

No.12 (R.G.368yds L.G.352yds) PAR4

左ドッグレッグのホール。左サイドを狙いたいが、無理せず正面の大きな松から右サイドが狙い目。第2打の距離感に細心の注意を。

No.13 (R.G.358yds L.G.325yds) PAR4

ほぼ真っすぐに伸びたホール。右側の池を避け、フェアウェイ中央の1本松を狙いの方向に。グリーンでは手前のバンカーからの寄せは困難。

No.14 (R.G.547yds L.G.536yds) PAR5

軽い右ドッグレッグのロングホール。あまり右サイドを狙いすぎると、思わず落し穴が待っている。第3打地点の狙い方向は両グリーンの間を。左サイドのOBに注意。

No.15 (R.G.361yds L.G.331yds) PAR4

右ドッグレッグのホール。右サイドのフェアウェイバンカーとグリーン手前のクリークを考えての攻略が重要。距離も短いことからティーショットはドライバー以外のクラブを選択することも必要。

